

# 「校長室」通信

第3号

三股町立三股中学校だより

令和元年5月23日(木) 文責:校長 永山博一

## 三股中、県の【働き方改革モデル推進校】です

本年度、県内公立の小・中・高・特別支援校  
●公立小学校217校 ●公立中学校110校  
●県立高校40校 ●特別支援学校13校  
合計450校の中で、9校が  
【働き方改革モデル推進校】指定を受けました。

- 小学校 祝吉小 西池小 日知屋小
- 中学校 **三股中** 妻中 土々呂中
- 高校 延岡星雲高校 富島高校
- 特別支援学校 都城さくら聴覚支援学校

### 【宮崎県の基本方針】と4つの柱

#### ●教職員の長時間業務解消への対策の推進

- 柱1 教職員の事務作業負担軽減
- 柱2 教職員の勤務時間を意識した業務管理
- 柱3 中学・高校における部活動の在り方の見直し
- 柱4 家庭・地域と連携した学校の役割の明確化

本校でも、職員の勤務実態からすると、国の過労死ライン【時間外(残業)週80時間】を超えて勤務している実態があります。

すでに、部活動休養日は先行して実施しています。

今後、校内での業務内容改革だけでなく、生徒や保護者の皆様に、ご理解とご協力をいただきながら、新たな提案やお願いをすることになります。

三股中の成果は、県内外の学校現場に、波及させる使命も担っています。

#### 〈当面の達成目標〉

月当たり時間外業務80時間以上をゼロ

●三股中職員の勤務時間は  
【8:05~16:35】です。

めざすのは ↓ 【厚生労働省「過労死ライン80時間」

働き方を見直し、ワークライフバランスのとれた生活を実現、環境を整備する。そのことで授業を中心とした教育活動充実。学校における教育の質の向上と生徒の教育の充実を目指す。

## 『命に係わる』交通事故に要注意

ゴールデンウィーク前後から、全国的に、幼時から大人まで巻き込む交通事故のニュースが続いています。

三股中でも、

- 自転車と車の衝突事故、接触事故
- 自転車と歩行者(小学生・高齢者)との事故
- 自転車での並進等の危険運転

『命に係わる』事故や違反を防ぐ  
中学生が被害者だけでなく、加害者になることにもなります。



## 不審者にも注意

●不審者情報、注意喚起は常に行っています。夏になると事件が多くなります。**逃げる!!**

### 校長の独り言コーナー 『魔法の言葉』

すべての人間関係には始まりがあります。子どもでも、大人でも、恋愛でも、夫婦でも初めて出会った時からお互いを理解しあっていることなどありません。相手がどんな人なのか。お互いの心を探り合いながらお互い理解を深めていくものです。その時最も大切なのは言葉であると思います。(表情、目、身振り、清潔感等もあります)その言葉の中でも「ありがとう」は魔法の言葉です。話をするのが得意な人、口下手な人、多くの言葉をもっていない人もいます。大事なことは相手に対する感謝の気持ちがあるかが、人間関係では大切だと思います。先日読んだ本に ①「ありがとう」という言葉を大事にしてください。②「ありがとう」という言葉があふれている学校や職場は、必ず元気があるれています。③「ありがとう」の言葉をかけ合っている人の中には、必ず強い絆が生まれてきます。④「ありがとう」が行き交う家には、きっと幸せが宿っています。と書いてありました。また、何気ない日常の生活が送れていることにも「ありがとう」と感謝して過ごしたいですね。そして、私が帰宅したとき、思い切りシッポを振って「喜んでくれる？」言葉を話さない愛犬にも「ありがとう」と言います。